

令和六年度 育児相談研修会

期 日 令和六年八月二十九日（木）

会 場 プラサヴェルデ 3階「ホールB」
テーマ

『保育者のコミュニケーションを考える
～あなたがかたかな人間関係を育むことを
目指して～』

講 師 東海大学文化社会学部

教授 有沢孝治 氏

沼津市にあるプラサヴェルデにて育児相談研修会が行われました。県内から一〇九名もの申込みがあり、当研修への関心の高さが窺えました。

しかし、当日は台風の影響ため、五十一名が欠席する中、五十八名の方が参集し講義が始まりました。



午前は保育者のコミュニケーションの基礎について講義していただき、午後はグループ活動を通して、対人相談場面における様々な要素を踏まえたスキルについて、実践的な体験をしました。

講義では「保育者にとってコミュニケーション能力は保育の質への影響だけでなく、職場の人間関係や保護者との信頼関係を円滑にする大切な要素である」という観点から、まず「聴くこと」に関する考え方や、態度、技術を学び、更に「相手の立場に立って聴く」ため、最後まで聴く、感情に表情を合わせる、相槌の仕方、大切な言葉は繰り返し伝え聴く、等の傾聴スキルがあることを学びました。



グループワークでは「あなたがかたかな人間関係を育むために、最適な対人距離、相談場面での座席の空間配置とその効果、相手との関係性に応じた視線の使い分け、頷きと相槌の違い、態度と仕草の留意点、笑顔の効能などの各要素に焦点を当て、参加者同士で一つ一つ体験しながら楽しく学ぶことができました。

最後に参加者から現場ならではの質疑もあり、丁寧な助言と共に保育者への労いと励ましの言葉を頂きながら閉講となりました。全体を通じて実践的で学びの多い講義を頂き、参加者にとっても有意義な研修となりました。

